

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神障害治療学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学期及び曜時限	前期	教室名	801
担 当 教 員	大 野 力				
実務経験と その関連資格	作業療法士として精神科病院へ勤務。統合失調症などの精神障害領域の作業療法に5年間従事。 臨床実習指導者研修修了認定 MTDLP基礎研修修了 作業療法学修士学位取得 認定作業療法士資格取得 作業療法学会論文査読委員				
《授業科目における学習内容》					
GIO:精神科作業療法における疾患別の作業治療学を習得する。SBO:①精神科作業療法の疾患別の回復過程が説明できる。②精神科作業療法の疾患別の治療・援助の構造が説明できる。③精神科作業療法の理論を説明できる。					
《成績評価の方法と基準》					
1. 定期試験: 60% 2. 小テスト: 20% 3. レポート: 20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:精神障害と作業療法 一新版－ 参考図書:標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学 第3版					
《授業外における学習方法》					
予習することが望ましい。講義は書籍を読んでいる前提で行います。 講義で学んだ技法は日々使用可能なので、意識して行うこと。					
《履修に当たっての留意点》					
精神科作業療法の治療法習得については、ペーパーペイシエントを用いて事例検討をします。グループワークを用いて、統合と解釈、目標設定・治療計画立案を体験学習することで、臨床力に繋げていきます。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	精神認知系作業療法の理論が言える	教科書・参考書	第8章 精神認知系作業療法の理論・モデル・関連療法の予習	
	各コマにおける授業予定	精神機能作業療法の基本的視点			
第2回	授業を通じての到達目標	精神認知系作業療法のモデル・関連療法が言える	教科書・参考書	第8章 精神認知系作業療法の理論・モデル・関連療法の予習	
	各コマにおける授業予定	精神保健医療福祉と作業療法			
第3回	授業を通じての到達目標	回復過程に沿った作業療法が言える。	教科書	第6章 作業療法の実践の予習	
	各コマにおける授業予定	回復過程に沿った作業療法 ①			
第4回	授業を通じての到達目標	回復過程に沿った作業療法が言える。	教科書	第6章 作業療法の実践の予習	
	各コマにおける授業予定	回復過程に沿った作業療法 ②			
第5回	授業を通じての到達目標	神経症圏疾患の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習	
	各コマにおける授業予定	感情障害と作業療法 神経症圏・摂食障害 と作業療法			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	物質関連障害の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	物質関連障害 と作業療法		
第7回	授業を通じての到達目標	パーソナリティ障害とてんかんの作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	パーソナリティ障害・てんかんと作業療法		
第8回	授業を通じての到達目標	統合失調症の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	統合失調症と作業療法		
第9回	授業を通じての到達目標	統合失調症の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	統合失調症と作業療法		
第10回	授業を通じての到達目標	各疾患の作業療法について説明が出来る。	教科書	7章 予習・復習
	各コマにおける授業予定	感情障害・物質関連障害・神経症圏・摂食障害・パーソナリティ障害・てんかん・統合失調症 と作業療法		
第11回	授業を通じての到達目標	作業療法評価の関連を言える。	教科書・参考書	事例の熟読
	各コマにおける授業予定	A氏の事例紹介、作業療法評価の実践 ―臨床思考の体験―		
第12回	授業を通じての到達目標	事例像を言える。	教科書・参考書	事例の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ―臨床思考の体験―		
第13回	授業を通じての到達目標	肯定的側面、否定的側面を言える。	教科書・参考書	事例の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ―臨床思考の体験―		
第14回	授業を通じての到達目標	治療目標を設定できる。	教科書・参考書	事例の熟読
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ―症例報告書作成―		
第15回	授業を通じての到達目標	治療計画を立案できる。	教科書・参考書	臨床思考過程体験 (第11回～第14回)の 復習
	各コマにおける授業予定	作業療法評価の実践 ―フィードバック―		